

令和5年度

学 生 募 集 要 項

【特別選抜(帰国子女・社会人)】

(インターネットによる出願受付)



長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

新型コロナウイルス感染症の影響により、入学者選抜日程・選抜方法等について変更がある場合は、本学ホームページ (<https://sun.ac.jp/>) でお知らせします。

お問い合わせ先

長崎県立大学 学生支援課 学生グループ

【経営学部・地域創造学部】佐世保校

〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地

Tel 0956-47-5703 / Fax 0956-47-4616

【国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部】シーボルト校

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1

Tel 095-813-5065 / Fax 095-813-5222

【目 次】

インターネット出願について	1
1. 理念と教育目的、学生受け入れ方針等	
(1) 長崎県立大学の理念と教育目的、学生受け入れ方針	2
(2) 経営学部	3
(3) 地域創造学部	5
(4) 国際社会学部	7
(5) 情報システム学部	8
(6) 看護栄養学部	10
2. 募集人員	13
3. 入試日程	13
4. 出願資格	14
5. 出願手続	14
6. 選抜方法等	19
7. 合格発表	22
8. 入学手続	22
9. 初年度納付金等	23
10. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の配慮等	25
11. 入試情報の開示	26
12. 評価・合否判定基準	26
13. 個人情報の利用	28

インターネット出願について

長崎県立大学ではすべての入試においてインターネット出願を導入しています。
調査書等、出願期間中に郵送が必要な書類がありますのでご注意ください。

■ 出願の流れ

1) 事前準備

パソコンまたはスマートフォンで大学ホームページ（本学 HP）の「インターネット出願はこちら」にアクセスし、インターネット出願システム「Post@net」のログインページから新規登録を行ってください。登録後、Post@net にログインし、長崎県立大学を選択し、『はじめに』から「インターネット出願ガイド」をダウンロードしてください。

2) 出願に必要な書類などを準備

「インターネット出願ガイド」を参照して、出願に必要な書類などを準備してください。なお、出願登録の際に、顔写真データ（JPG、3MB 未満）が必要になりますので、予めご準備ください（上半身／無帽／正面向き／背景無し／カラーで、出願前3か月以内に撮影したもの）。

3) 出願登録を行う

Post@net で本学を選択し、『出願』から画面の指示に従って登録内容を入力してください。

登録内容

- ①出願情報（入試区分・志望学部学科等）、②志願者情報、
- ③検定料支払方法

※②の志願者情報入力後、【出願確認票（未入金）】をダウンロードしてください。

【出願確認票（未入金）】は学校の先生、保護者の方の確認用としてもご利用ください。

《支払方法》

- ◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア ◎銀行ATM（ペイジー）
- ◎ネットバンキング（ペイジー）

4) 検定料を支払う

選択した支払方法に従って、**支払期限までに**検定料（17,000円）を支払ってください。

※別途、振込手数料（600円）が必要です。

5) 出願書類の印刷・郵送

検定料の支払い後、Post@net の『出願内容一覧』に入り、本学の『出願内容を確認』から、各種様式をダウンロードし、A4で印刷してください。

本要項に記載されている出願手続きに従って、必要書類及び封筒等を準備し、「出願書類提出期限」に間に合うように郵送してください。

6) 出願完了

(1) 長崎県立大学の理念と教育目的、学生受け入れ方針

◆長崎県立大学の理念と教育目的

長崎県立大学は、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げています。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成します。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指します。

さらに、社会における諸問題に大きな関心をもち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成します。

◆学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

長崎県立大学は、大学の教育理念・目的を達成するために、本学の学位授与の方針やカリキュラム編成の方針を理解し、主体的かつ積極的に学ぶことができる以下のような人を求めています。

- 高等学校の教育課程で学習する内容に関する幅広い知識を有する人
- 高等学校の教育課程で獲得する知識やスキルを活用できる人
- 多様性を理解し、他者と協働する力を有する人
- 人や自然を尊重できる人
- 何事にも好奇心をもち、積極的に挑戦したいと考えている人
- 目的をもって、忍耐強く努力したいと思っている人
- 長崎の歴史・文化や地域的特性に関心をもっている人
- 地域社会や国際社会に貢献したいと考えている人

また、長崎県立大学では、高大接続の観点を踏まえつつ、学部・学科の特性に応じて各種の選抜方法を実施します。

(2) 経営学部

【教育目的】

現代の国内外の企業経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で経営上の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 経営に関する専門的・総合的な視野を備え、企業の経営における様々な課題を理解し、分析・解決できる人材
- 外国語を用いたコミュニケーション能力と国際的な視野を備え、グローバルに活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 経営、マーケティング・流通、会計・簿記などに興味を持つ人
- 国際的に展開する企業活動や、日本企業の現場の仕組みに関心を持つ人
- 経営に関する企画・立案力を高めて、地域社会や国際社会の成長に貢献したい人
- 語学力向上に意欲を持ち、国際社会の中で活躍したい人

経営学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

経 営 学 科	<p>【教育目的】 企業をはじめとする組織の経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で様々な企業等の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○経営、マーケティング、会計等に関する知識・知見を有し、企業の各分野において活躍できる人材 ○事業を立ち上げるなどして地域で活躍できる人材 ○経営、会計等に関する知識・知見を有し、大学院に進学したり教員として活躍したりできる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●経営に関する専門知識を学び、企業をはじめとする組織を立ち上げたり、企業等の成長に貢献したりしたい人 ●マーケティング・流通に関する専門知識を学び、小売・サービス・金融・運輸などの分野で活躍したい人 ●会計・簿記の専門知識を学び、税理士や企業等の会計部門で活躍したい人 ●経営に関する企画・立案能力を高めて、地域社会の成長に貢献したい人</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、小論文では、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●総合型選抜 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（4教科4科目）を課すとともに、小論文で、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力などの能力をみて、面接では、出願書類を参考に、本学科で学修・研究したい地域課題への目的意識や意欲、高校時代にその課題に関わった経験等をみて、総合的に評価します。</p>
---------	--

<p>経営学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学校推薦型選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
<p>国際経営学科</p>	<p>【教育目的】 現代の企業経営に必要な知識・知見と実践力及び国際的な経営感覚を身に付け、グローバルな視点で様々な企業の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○経営に関する知識・知見及び外国語を用いたコミュニケーション能力を有し、東アジア地域をはじめ海外展開をする企業や団体に活躍できる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●国際的な経営に関する専門知識を学び、グローバルに活動する企業で活躍したい人 ●語学力向上に意欲を持ち、国際社会の中で活躍したい人 ●他国の人とも協働しながら経営に関する企画・立案能力を高めて、国際社会の成長に貢献したい人</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般選抜（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。 ●学校推薦型選抜 個別学力検査等（英語）で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p>

(3) 地域創造学部

【教育目的】

地域の発展に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 地域社会や地域経済が抱える様々な課題を専門的、総合的視野に立って理解し、分析・解決できる人材
- リーダーシップを有し、他者と協働して地域社会や地域経済のあり方を創造できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 地域社会や地域経済の様々な課題について、それらの課題解決に向けて取り組むために必要な基礎的知識と探究への好奇心を身に付けている人
- 地域創造に関心を持ち、そのために必要な知識を理解し、論理的に表現できる能力を有する人
- 課題解決などに対して、主体的に他者と協働して取り組むコミュニケーション能力と、意欲を有している人

地域創造学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

<p>公共政策学科</p>	<p>【教育目的】 公共という視点に立って、政策の企画・立案及び評価に関する知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の政策課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○公共政策に関する知識・知見を有し、地方自治体等において活躍できる人材 ○公共政策に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●高等学校までに習得した知識・情報・探究力をつなぎ合わせて、地域社会の様々な問題について、筋道を立てて考え、文章化するなど、論理的に説明することができる人 ●学科の教育課程で学ぶ諸学問分野の知識を習得する上で基本となる理解力を有する人 ●公共の問題に関心を有し、地域社会の諸課題について多様な人々と積極的に話し合える柔軟性と主体性を有する人</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。 ●学校推薦型選抜（県内離島高校区分を除く） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（4教科5科目）を課すとともに、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●学校推薦型選抜（県内離島高校区分） 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、集団面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲を個別に確認し、集団討論では積極性、協調性、論題についての理解力から、本学科が提供する専門分野に対する適性などを見極め、総合的に評価します。</p>
---------------	--

<p>公共政策学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
<p>実践経済学科</p>	<p>【教育目的】 企業活動における企画・立案能力を有し、地域経済の動向を分析しその発展に寄与できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、地域企業において活躍できる人材 ○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●地域経済や企業動向などの分析による課題解決方法を学びたい人 ●経済学や地域経済に関する知識を学び、地域企業等で活躍したい人 ●地域企業のグローバルな事業展開に関心を持つ人</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、小論文では、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●学校推薦型選抜（県内商業科等区分を除く） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●学校推薦型選抜（県内商業科等区分） 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

(4) 国際社会学部

【教育目的】

国際社会及びメディアに関する知識と実践力を身に付け、グローバルな視野での課題解決能力及び情報発信能力を有する人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 現代社会が直面する諸課題をグローバルな視野でとらえ、地域社会や国際社会で活躍できる人材
- 高いコミュニケーション能力と情報収集・分析及び批判的・論理的思考能力を備え、自治体や企業の国際部門・メディア産業等で活躍できる人材
- 東アジア地域に関する知見を深め、グローバルな交流の促進や地域社会の発展に寄与できる人材
- グローバル社会やメディア社会に関する知識を有し、教員として活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- グローバル社会やメディア社会など現代の様々な特性や仕組みについて幅広い関心を持つ人
- グローバル化する地域社会における様々な問題を解決しようとする意欲を持つ人
- 現代社会におけるメディアの役割に関心を持ち、社会の様々な出来事に対して自らの考えを論理的に展開できる人
- 東アジアに関心を持ち、東アジア諸国を中心としたグローバルな交流の推進に貢献したい人
- 英語や中国語などの外国語による高いコミュニケーション能力を習得する意欲を持つ人

<p>国際社会学科</p>	<p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般選抜（前期日程、後期日程） <p>基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科7科目又は8科目、若しくは6教科7科目又は8科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。</p> ●総合型選抜 <p>第1次選考では、出願書類に基づき、学科が求める学生像に合致しているか、学科を志望する理由が明確であるか、入学後の学習意欲や将来の展望が的確に示されているか、などの観点から評価します。</p> <p>第2次選考では、小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力などの能力をみて、面接では出願書類を参考に、目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。</p> ●学校推薦型選抜 <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> ●帰国子女特別選抜 <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> ●社会人特別選抜 <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> ●私費外国人留学生特別選抜 <p>日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p>
---------------	--

(5) 情報システム学部

【教育目的】

情報システムに関する知識と実践力を身に付け、高度情報化社会における課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材
- 感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使して創造的デザイン分野で活躍できる人材
- 情報セキュリティに関する知識や技術を有し、情報セキュリティ分野で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 情報技術、情報デザイン技術、情報セキュリティ技術に強い関心を持つ人
- 高度情報化社会における諸問題について解決を図ろうとする意欲を持つ人

情報システム学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

情報システム学科	<p>【教育目的】</p> <p>情報システムに関する広い視野と知識を備え、システム開発のプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <ul style="list-style-type: none">○システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材○感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使してデザイン分野で活躍できる人材 <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none">●システム開発、プログラミング、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人●多様なコンテンツを制作する知識を深め、情報デザインのための技術や感性を高めたい人●情報技術や情報デザイン技術の活用により問題解決を図ろうとする意欲を持つ人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none">●一般選抜（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。●学校推薦型選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。●私費外国人留学生特別選抜 本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
----------	--

【教育目的】

情報セキュリティ全般にわたる広い視野と知識を備え、情報セキュリティのプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。
○情報セキュリティに関する知識や技術を有し、企業や行政などの情報セキュリティ分野で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 情報セキュリティに関する基本的な知識・技術を修得し、情報セキュリティ分野で活躍したい人
- システム開発、プログラミング、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人
- 情報技術の活用により問題解決を図ろうとする意欲を持つ人

【入学者選抜の基本方針】

一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。

- 一般選抜（前期日程、後期日程）
基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。
- 学校推薦型選抜
小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
- 帰国子女特別選抜
小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
- 社会人特別選抜
小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
- 私費外国人留学生特別選抜
本学科が示す要件等（日本留学試験を含む）をすべて満たしていることを条件に、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

(6) 看護栄養学部

【教育目的】

人々の健康な生活を支援するため、豊富な科学的・専門的知識の修得と、あらゆる年齢層のさまざまな健康状態の人々と接することができる豊かな人間性を持つ人材の育成を目指すとともに、健康科学の基礎と応用を総合化した教育研究を推進することにより、実践的問題解決能力を養い、地域の保健・医療活動を通して、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 看護師または管理栄養士として、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材
- 保健・医療・福祉の分野で、他職種と協働して専門的能力を発揮できる人材
- 看護の知識や技術が豊富な養護教諭または子どもたちの食育を担う栄養教諭として、教育現場で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- いのちの尊さを理解し、まじめに努力する人
- 人に対する思いやりを持ち、人の苦しみを共有できる人
- 科学を重視し、適確に物事を行える人
- 社会制度の変化に敏感かつ適正に対応できる人
- 協調性があり、他の職種の人々とチーム医療のできる人

看護栄養学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

看護学科	<p>【教育目的】 生命の尊厳と人権を尊重し、人間を深く理解し根拠に基づき行動する看護師や養護教諭として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○人々の健康ニーズ(健康増進、疾病予防・早期発見、健康回復、安寧な人生の看取り)に対応できる基礎的看護実践能力を有する看護師 ○保健・医療・福祉の分野で看護サービスの質向上に寄与できるリーダーシップの基礎的能力を有する看護師 ○看護の専門性を備えた教育職として活躍できる養護教諭</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●看護を通して、人々の健康生活に貢献したいと思っている人 ●物事を科学的に探究し、積極的・主体的に学ぶ姿勢がある人 ●看護学への学習意欲を持ち、専門性の高い看護職になりたいと希望している人 ●さまざまな世代の人々と、柔軟にコミュニケーションがとれる人 ●他者を尊重する姿勢を持ち、協働して活動できる人</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般選抜（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。 ●学校推薦型選抜（離島看護師特別枠を除く） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、論理的思考力、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。</p>
------	---

<p>看護学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学校推薦型選抜（離島看護師特別枠） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性、離島医療に対する貢献意欲等を総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、提示した素材により、理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、日本語による会話的表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。
<p>栄養健康学科</p>	<p>【教育目的】 健康社会実現のために社会の幅広い分野で貢献できる栄養専門家として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○地域の人々の健康作りの担い手としての管理栄養士 ○高齢社会の食を支える管理栄養士 ○臨床現場で他のスタッフと連携・協働して栄養マネジメント・アセスメントを実践できる管理栄養士 ○特定給食施設で栄養マネジメントを実践できる管理栄養士 ○食品開発、食糧資源の有効利用、食品衛生管理者などの資格を活かせる管理栄養士 ○次世代社会の子どもたちの食育を担う栄養教諭</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●身近な「食と健康」を通して健康・福祉社会の創出に貢献したい人 ●保健・医療・健康分野や県や市町村などの管理栄養士を志す人 ●食品開発、食品の安全性や機能性などに興味を持っている人 ●子供たちの食育を通して健康生活づくりに寄与したい人 ●生命科学に根ざした「食と健康」を科学するスペシャリストになりたい人</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課すとともに、個別学力検査等（化学基礎・化学）では、高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（化学基礎・化学）では、高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価し、面接では、志望動機や将来の展望などとともに、高等学校の一般的学習を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や理科学的思考などを総合的に問います。 ●学校推薦型選抜 課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。 さらに、面接では、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価し、小論文の評価と合わせて可否を判断します。ただし、一定の基礎学力を有する者が対象となります。 基礎学力は、大学入学共通テスト（5教科6科目又は7科目）で評価します。</p>

<p>栄養健康学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●帰国子女特別選抜 課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、日本の高等学校の教育課程で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 本学科が示す要件等（日本留学試験を含む）をすべて満たしていることを条件に、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。
---------------	---

2. 募集人員

(単位：人)

学部	学科	入学定員	募 集 人 員							
			一 般 選 抜			学校 推薦型 選抜	特 別 選 抜			総合型 選抜
			前期 日程	後期 日程	計		帰国子女	社会人	私費外国人 留学生	
経営	経 営	140	70	15	85	45	若干名	若干名	若干名	10
	国際経営	60	30	10	40	20	若干名	若干名	若干名	—
地域 創造	公共政策	120	60	30	90	30	若干名	若干名	若干名	—
	実践経済	130	65	20	85	45	若干名	若干名	若干名	—
国際社会	国際社会	60	30	6	36	19	若干名	若干名	若干名	5
情報 システム	情報システム	40	20	8	28	12	若干名	若干名	若干名	—
	情報セキュリティ	80	40	20	60	20	若干名	若干名	若干名	—
看護 栄養	看 護	60	38	6	44	16	若干名	若干名	若干名	—
	栄養健康	40	24	6	30	10	若干名	若干名	若干名	—

3. 入試日程

学 部	全学部
出願期間	令和4年11月1日(火) ～ 11月8日(火)
選抜期日	令和4年11月26日(土)
合格発表	令和4年12月2日(金)
入学手続期間	令和4年12月5日(月) ～ 12月12日(月)

4. 出願資格

【帰国子女特別選抜】

日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者のうち、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者で、次の①～③のいずれかに該当する者

- ①外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者
- ②日本の高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月31日までに卒業（修了）見込みの者で、中学校・高等学校を通じて3年以上外国の学校で教育を受け、かつ日本の高等学校若しくは中等教育学校後期課程の在籍期間が2年未満の者
- ③次のいずれか一つを令和3年4月1日以降に外国において取得した者
 - (ア) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - (イ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - (ウ) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

(注) ①及び②において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在籍した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

【社会人特別選抜】

令和5年3月31日までに23歳に達し、次の①～③のいずれかに該当する者で、出願日現在、社会人として認められる者

- ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
 - ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者
 - ③学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- ※③により入学資格認定申請を行う者は、長崎県立大学ホームページで「入学資格認定申請書」を取得し、令和4年10月7日（金）までに提出してください。

5. 出願手続

(1) 出願登録期間・検定料支払期限・出願書類提出期限

出願登録期間	検定料 支払期限	出願書類 提出期限
令和4年11月1日（火）～ 令和4年11月8日（火） 17:00まで	令和4年11月8日（火） 17:00まで	令和4年11月8日（火） 必着

(2) 出願方法

①長崎県立大学ホームページにアクセスし、「インターネット出願はこちら」から、出願してください。

[https:// sun.ac.jp/](https://sun.ac.jp/)

※Post@net のログイン画面より「新規登録」ボタンから、アカウントを作成してください。

※Post@net の本学のページに掲載の『はじめに』をよく確認してください。

※《アカウント作成 ⇒ 出願登録 ⇒ 検定料の支払い ⇒ 出願書類の提出》で出願手続きが完了します。

②出願書類等は、検定料支払後にダウンロードが可能になる【封筒貼付用宛名シート】を貼り付けた角2封筒に入れ、必ず「簡易書留・速達」で郵送してください。

持参する場合の受付時間は、平日の9時から17時までとします。

(3) 出願先

経営学部 (経営学科、国際経営学科) 地域創造学部 (公共政策学科、実践経済学科)	〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地 長崎県立大学佐世保校 学生支援課学生グループ
国際社会学部 (国際社会学科) 情報システム学部 (情報システム学科、情報セキュリティ学科) 看護栄養学部 (看護学科、栄養健康学科)	〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1 長崎県立大学シーボルト校 学生支援課学生グループ

(4) 出願書類等

出願書類は、帰国子女及び社会人の区分で異なり、「インターネット出願システムから印刷するもの」と、「志願者が各自で準備するもの」があります。

【帰国子女特別選抜】

○インターネット出願システムから印刷するもの

※検定料の支払い後に、「インターネット出願 入金完了」メールが届いたら、Post@net にログインし、「出願内容一覧」から長崎県立大学の『出願内容を確認』にアクセスして、【出願確認票(入金済)】、【封筒貼付用宛名シート】をダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4サイズ用の紙に印刷し、郵送してください。

帰 国 子 女				
出願資格 (14ページ参照)			出願書類等	摘 要
① 該当	② 該当	③ 該当		
○	○	○	令和5年度 長崎県立大学 出願確認票 【入金済】	<ul style="list-style-type: none"> 出願内容、志願者情報に間違いがないか確認してください。 必ず【入金済】と記載された出願確認票を利用してください。 ※【未入金】と記載された出願確認票は志願者本人、保護者、高校教員等の確認用に利用し、大学に郵送しないでください。

出願資格 (14ページ参照)			出願書類等	摘 要
① 該当	② 該当	③ 該当		
○	○	○	封筒貼付用 宛名シート	<ul style="list-style-type: none"> ・出願内容、志願者情報に間違いがないか確認してください。 ・カラーまたは2色刷りで印刷してください。 ・宛名シートを市販の角2封筒(240mm×332mm)に貼付け、出願書類を同封し必ず「簡易書留・速達」で郵送してください。 ※封筒貼付用宛名シートが出力できない場合は、直接封筒に以下の内容を記入してください。 <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・入試区分 ・学部・学科 ・出願登録番号 ・志願者情報(郵便番号、住所、氏名、フリガナ) ・『入試出願書類在中』(朱書き) ・出願先住所 </div>

○志願者が各自で準備するもの ※本学所定の様式は、必ず最新の様式をご利用ください。

帰 国 子 女				
出願資格 (14ページ参照)			出願書類等	摘 要
① 該当	② 該当	③ 該当		
○	○	○	履歴書	本学HPから所定の様式をダウンロードし、必要事項をもれなく記入してください。
—	○	—	調査書等※1	日本の高等学校に在籍したことがある場合又は在学中の場合は、文部科学省所定の様式により学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 なお、高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。
○	○	○	志望理由書	本学HPから所定の様式をダウンロードし、志望理由等について、志願者本人が自筆で記入してください。
○	○	○	海外在留証明書	在外公館又は保護者の所属する機関の長による証明書(滞在期間、在留地を明記したもので、様式は任意とします。)
○	○	—	卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書※2	高等学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書及びその公証書(出願資格②に該当の場合は、公証書は必要ありません。)
○	○	—	成績証明書	外国において在学した高等学校長が作成した在学期間すべての成績証明書及びその公証書(出願資格②に該当の場合は、公証書は必要ありません。)
—	—	○	資格証明書及び成績評価証明書等	(ア)～(ウ)のいずれかの証明書を提出してください。 (ア)国際バカロレア資格証書の写し及び最終試験6科目の成績評価証明書の写し (イ)アビトゥア資格証明書「一般的大学入学資格証明書」の写し及び試験科目の成績評価証明書の写し (ウ)バカロレア資格(フランス共和国)証書の写し及び試験科目の成績証明書の写し

- ※1 被災その他の事情により調査書が得られない場合には、志望学部 of 学生支援課学生グループに申し出てください。
- ※2 外国の高等学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書が発行できない等やむを得ないと認められる事情がある場合は、卒業（修了）証書の写しを提出してください。その場合、受験時に原本の提示が必要となります。

【社会人特別選抜】

○インターネット出願システムから印刷するもの

※検定料の支払い後に、「インターネット出願 入金完了」メールが届いたら、Post@net にログインし、「出願内容一覧」から長崎県立大学の『出願内容を確認』にアクセスして、【出願確認票（入金済）】、【封筒貼付用宛名シート】をダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4サイズの用紙に印刷し、郵送してください。

社 会 人	
出願書類等	摘 要
令和5年度長崎県立大学 出願確認票【入金済】	<ul style="list-style-type: none"> ・出願内容、志願者情報に間違いがないか確認してください。 ・必ず【入金済】と記載された出願確認票を利用してください。 ※【未入金】と記載された出願確認票は志願者本人の確認用に利用し、大学に郵送しないでください。
封筒貼付用 宛名シート	<ul style="list-style-type: none"> ・出願内容、志願者情報に間違いがないか確認してください。 ・カラーまたは2色刷りで印刷してください。 ・宛名シートを市販の角2封筒（240mm×332mm）に貼付け、出願書類を同封し必ず「簡易書留・速達」で郵送してください。 ※封筒貼付用宛名シートが出力できない場合は、直接封筒に以下の内容を記入してください。 <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・入試区分 ・学部・学科 ・出願登録番号 ・志願者情報（郵便番号、住所、氏名、フリガナ） ・『入試出願書類在中』（朱書き） ・出願先住所 </div>

○志願者が各自で準備するもの ※本学所定の様式は、必ず最新の様式をご利用ください。

社 会 人	
出願書類等	摘 要
履歴書	本学HPから所定の様式をダウンロードし、必要事項をもれなく記入してください。
志望理由書	本学HPから所定の様式をダウンロードし、志望理由等について、志願者本人が自筆で記入してください。
調査書等 ※	<p>文部科学省所定の様式により学校長が作成し、厳封したものを提出してください。卒業後5年以上経ち、調査書を提出できない者は、単位修得証明書又は成績証明書をもって調査書に代えることができます。</p> <p>なお、高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。</p> <p>また、外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び高等学校卒業程度認定試験、大学入学資格検定の合格者については、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えることができます。</p>

出願書類等	摘 要
高等学校卒業程度認定試験 合格証明書（該当者のみ）	高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）合格証明書の写し
卒業（修了）証明書 （該当者のみ）	高等学校若しくは中等教育学校の卒業（修了）証明書

※高等学校生徒指導要録の保存期間（入学、卒業等の学籍に関する記録（各教科・科目等の修得単位数の記録を含む。）については卒業後20年、指導に関する記録については卒業後5年。）が経過したものの、又は廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、志望学部の学生支援課学生グループに申し出てください。

（注）改姓により出願書類と各種証明書の氏名が異なっている場合には、戸籍抄本を添付してください。

（5）出願上の注意事項

- ①出願書類の記入に当たっては、楷書で正しく明確に記入してください。また、黒色のボールペンで記入してください。
- ②出願書類がすべてそろっていない場合には受付できません。また、【帰国子女特別選抜】の出願書類のうち、外国の学校又は機関において外国語で作成された書類には、**日本語訳及び公証書**※を添付のうえ提出してください。
※公証書は、中国では教育部学歴認証センター(北京市)または各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において、その他の国では当該の大使館、領事館、外務省等において、提出書類が真実であることを宣誓し、証明を受けてください。出願書類の準備に時間がかかることが予想されますので、早めに手続きを開始するようにしてください。
- ③出願書類郵送後の記入事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、志望学部の学生支援課学生グループに連絡してください。
- ④入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑤一度受理した出願書類は返却しません。
- ⑥既納の検定料は、次に該当する場合のみ返還します。
 - （ア）出願書類を提出しなかった場合
 - （イ）出願が受理されなかった場合
 - （ウ）二重に振り込んだ場合

なお、上記理由による当該検定料相当額の返還の申し出は、出願期間の最終日から40日以内とします。

（6）受験票の準備

出願書類の受理、検定料の入金が確認されると、選抜期日の7日前を目途に「デジタル受験票ダウンロード指示メール」が届きます。メールが届いた後、Post@netにログインし、「出願内容一覧」から長崎県立大学の『出願内容を確認』にアクセスして「デジタル受験票」をダウンロードし、印刷して、大切に保管してください。受験票は受験時に必要ですので、必ず持参してください。

※選抜期日の7日前までにメールが届かない場合は、志望学部の学生支援課学生グループまでご連絡ください。

(7) 受験上の配慮について

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、令和4年10月17日(月)までに、学生支援課学生グループに申し出てください。

なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる出身学校関係者との面談や医師の診断書等の提出をお願いすることがあります。

6. 選抜方法等

(1) 選抜方法

大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、提出された出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合的に判定して行います。

①選抜期日 令和4年11月26日(土)

②試験時間・科目等の配点

学部	学科	科目等	試験時間	配点
経営	経営 国際経営	小論文	10:00～11:00(60分)	100点
		面接	13:00～	100点
地域創造	公共政策 実践経済	小論文	10:00～11:00(60分)	100点
		面接	13:00～	100点
国際社会	国際社会	小論文	10:00～11:30(90分)	80点
		面接	12:30～	20点
情報システム	情報システム	小論文	10:00～11:30(90分)	75点
		面接	12:30～	25点
	情報セキュリティ	小論文	10:00～11:30(90分)	50点
		面接	12:30～	50点
看護栄養	看護	小論文	10:00～11:30(90分)	80点
		面接	12:30～	20点
	栄養健康	小論文	10:00～11:30(90分)	100点
		面接	12:30～	100点

○経営学部・地域創造学部の受験者は、9時00分から9時40分までに指定された教室に入室し、着席してください。

○国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部の受験者は、8時30分から9時40分までに指定された教室に入室し、着席してください。

③試験場

経営学部 地域創造学部	長崎県立大学佐世保校 長崎県佐世保市川下町123番地
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	長崎県立大学シーボルト校 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1

(2) 受験上の注意事項

- ①小論文試験開始後は、20分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ②面接試験開始時刻までに、決められた面接控室に集合し、待機してください。面接試験開始時に不在であった場合は、欠席したものと取り扱います。
- ③本学が指定した科目等のいずれか一つでも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ④当日は、受験票を必ず持参してください。
- ⑤受験票を忘れた者は、試験場所定の仮受験票発行受付で仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は試験後も大切に保管してください。
- ⑥小論文試験の実施時に、受験票を試験監督者が見えるよう机の上に置いてください。
- ⑦小論文の試験時間中に使用を許可するものは、黒鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）に限ります。これ以外の所持品を使用または置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。
- ⑧試験室内での発言は、必ず挙手をして、監督者の許可を得て行ってください。
- ⑨携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、かばん等に入れてください。
- ⑩試験室内で英文字、地図等がプリントされている衣服等、試験実施に影響を与えるものを着用している場合は、必要に応じ脱衣等の指示に従っていただきます。
- ⑪試験時間中は、受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- ⑫試験場では昼食の販売は行いませんので、各自持参してください。
- ⑬試験場には、受験者用駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。また、保護者等の待機場所もございません。
- ⑭試験前日の午後限り試験場の下見はできますが、建物内への立ち入りはできません。
- ⑮その他必要な事項が生じた場合には、志願者情報に登録されたメールアドレス又は大学のホームページから通知します。

(3) 不正行為について

- ①次のことをすると不正行為となります。
 - ・出願確認票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（インターネット出願の際、本人以外の写真を使用することや、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
 - ・カンニング（試験に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - ・他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ・配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - ・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ・「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - ・試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。）
 - ・「解答やめ。鉛筆を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

②上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。

- ・試験時間中に使用を許可するもの以外や、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に着けていたり手に持っていること。
- ・試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ・試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ・試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ・試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ・その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

③不正行為をした者及び監督者の指示に従わない者は、直ちに退場させます。その場合は、以後の受験はできなくなるとともに、受験した試験の成績は無効とします。

(4) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う受験上の注意事項

■試験前

- ①日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」等により各自感染防止に努め、体調管理には十分注意してください。
- ②日頃から、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。
- ③試験日の1週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関を受診してください。

■試験当日

- ①症状の有無にかかわらず、試験場では昼食時以外は常にマスクを着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）してください。（何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、あらかじめ学生支援課学生グループに相談してください。）なお、マスクは各自で必ず持参してください。
- ②受験者控室は設けませんので、昼食をとる場合は、あらかじめ指示された時間内に自席で黙食してください。また、食事を取り終えた後は、速やかにマスクを着用してください。
- ③休憩時間や昼食時、入退場時等における他者との接触、会話は極力控えてください。
- ④試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参してください。
- ⑤試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい受験者が発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は、試験当日における対応等について、かかりつけ医や「受診・相談センター」（地域により名称が異なることがある。）に相談するとともに、事前に学生支援課学生グループに電話でご連絡ください。また、上記に該当しないものの、発熱や咳等の症状のある受験者は、その旨を試験監督者等に申し出てください。
- ⑥新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者は受験できません。また、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者は、他の受験者への感染のおそれがあるため、原則受験できません。
- ⑦ただし、無症状の濃厚接触者については、以下の要件を全て満たせば別室での受験を認めますので、事前に学生支援課学生グループに電話でご連絡ください。
 - ・自治体等によるPCR等検査の結果が、陰性であること
 - ・受験当日も無症状であること
 - ・公共の交通機関を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場まで来ることができること
- ⑧新型コロナウイルス感染症に罹患している者又は濃厚接触者等で受験できなかった者に対し、追試験を実施しますので、25ページを確認してください。

■その他

- ①海外から日本に入国して受験する場合、待機期間の有無を確認のうえ、余裕を持って入国してください。
- ②他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことを検討してください。
- ③新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用することを検討してください。

7. 合格発表

(1) 合格発表日 令和4年12月2日（金） 10時

(2) 合格発表方法

- ①合格発表日に合格者に対して合格通知書を速達で発送します。
※本学では合格通知を無料で行っており、受験者に送料等を請求することはありません。
- ②本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。
・ホームページアドレス <https://sun.ac.jp/>
※ホームページ上の合格発表は補助的なものですので、必ず合格通知書で確認してください。
- ③電話等での問い合わせには一切応じません。

8. 入学手続

(1) 入学手続期間 令和4年12月5日（月）～12月12日（月） 必着

(2) 入学手続先

経営学部 地域創造学部	〒858-8580	長崎県佐世保市川下町123番地 長崎県立大学佐世保校 学生支援課学生グループ
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	〒851-2195	長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1 長崎県立大学シーボルト校 学生支援課学生グループ

(3) 入学手続方法

- ①入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。
- ②提出書類は、郵送又は大学窓口へ直接持参してください。
- ③郵送の場合は、必ず「簡易書留・速達」とし、入学手続期間内必着とします。
- ④大学窓口へ持参する場合は、平日の9時から17時までに入学手続先の学生支援課窓口へ提出してください。
- ⑤一度受理した入学手続書類は返還しません。

(4) 留意事項

合格者が入学手続期間内に手続を完了しない場合は、合格者としての権利が消滅します。

9. 初年度納付金等《保護者の方にも事前に確認してもらってください》

(1) 入学料

入学手続の際には、下記金額の入学料を納付する必要があります。

①県内生 176,500円

②県外生 353,000円

(注1)「県内生」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の血族が、入学年度の前年の4月1日から引き続き長崎県内に住所を有する者をいいます。「県外生」とは、「県内生」以外の者をいいます。

(注2) 入学料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

(注3) 入学料は、入学手続期間内に納付してください。

(注4) 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

(2) 授業料

前 期	後 期	年 額
267,900円	267,900円	535,800円

(注1) 授業料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

(注2) 授業料は入学後に納付していただきます。詳細については、入学手続関係書類とともに送付します。

(注3) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) その他納付金

学 部	後援会費	同窓会費	学生自治会費	学生保険料
経営 地域創造	50,000円	22,000円	33,000円	4,660円
国際社会 情報システム 看護栄養	50,000円	10,000円	29,500円	4,660円～

(注) その他納付金の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

(4) 初年度納付金以外の経費（参考）【令和4年9月時点】

入学料、授業料、教材費及びその他納付金以外に、1年次又は2年次以降に次の経費が必要となります。（納付時期等の詳細については入学後に説明します。）

①進級、卒業要件に係る資格試験等受験料

- ・ TOEIC IP 3,130円/回 ・ TOEIC 公開テスト 6,710円/回
- ・ 中国語検定（中検）3級 5,800円/回 2級 7,800円/回
- ・ 日経 TEST（企業・団体試験）4,400円～/回
- ・ 日商簿記検定2級 4,720円/回
- ・ F P 技能検定2級 5,700円/回（学科試験）・6,000円/回（実技試験）
- ・ 販売士検定 2級 5,770円/回
- ・ ニュース時事検定2級 4,300円/回
- ・ IT パスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験 7,500円/回
- ・ CG-ARTS 検定（エキスパート）6,200円/回

※要件を達成するまでの費用がかかります。

②必修となる研修、課外講座等の費用（参考：海外研修については渡航した場合）

・経営学部 国際経営学科

海外語学研修（1年次） 約 300,000 円～

海外ビジネス研修（3年次） 約 250,000 円～約 350,000 円（場所、期間により異なります）

・地域創造学部 インターンシップ等の実践科目において、交通費等の実費がかかります。

・国際社会学部 国際社会学科

海外語学研修（2年次） 約 200,000 円～約 500,000 円（場所、期間により異なります）

③実験、実習等の費用

④入学者全員に一定の基準にあったノート型パソコンを準備していただく予定です。（詳細は入学前に説明します）

（5）その他

①高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等の減免（本学は対象校として認定されています））

本制度は住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学部生（留学生を除く）に対して、日本学生支援機構の給付奨学金の支給及び大学の入学料と授業料を減免することにより支援する制度です。採用された給付奨学金の支援区分（第Ⅰ～Ⅲ区分）に従い、入学料及び授業料について全額、2/3 の額、1/3 の額が免除されます。

②貸与奨学金

独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金には、第一種奨学金（無利子貸与）と第二種奨学金（有利子貸与）があり、その貸与月額は、次表のとおりです。第二種奨学金は、その貸与額に対し年3%（上限金利）の利息がつきます。この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

種 類	貸 与 月 額（令和4年度実績）	
	自宅通学者	自宅外通学者
第一種奨学金 ※申込時における家計支持者の収入・所得金額によって、選択できる月額に制限があります。	20,000 円、30,000 円 45,000 円 (3種類から選択)	20,000 円、30,000 円 40,000 円、51,000 円 (4種類から選択)
第二種奨学金	20,000 円～120,000 円（1万円単位）の金額内で 選択可能	

※給付奨学金と併せて第一種奨学金を利用する場合、給付奨学金の支給を受けている期間中に受けることができる第一種奨学金の月額に制限があります。

③下宿・アパートについては、本学大学生生活協同組合で相談に応じます。

TEL 佐世保校 0956-48-3732

シーボルト校 095-887-5552

10. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の配慮等

令和5年度入学者選抜（令和4年度実施）において、新型コロナウイルス感染症に罹患している者又は保健所から濃厚接触者に該当するとされた者等に対し、追試験を実施します。

(1) 追試験スケジュール

選考期日 令和4年12月10日（土）

※試験時間・科目等、試験場及び受験上の注意事項については、本試験と同様です。

合格発表日 令和4年12月15日（木） 10時

入学手続期間 令和4年12月16日（金）～12月23日（金） **必着**

(2) 申請方法

①はじめに電話で連絡してください。

【受付期間】

令和4年11月21日（月）～11月25日（金）（9：00～17：00）、

令和4年11月26日（土）（8：30～11：30）

※祝日を除く。

【連絡先】

経営学部・地域創造学部

長崎県立大学 佐世保校学生支援課学生グループ TEL：0956-47-5703

国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部

長崎県立大学 シーボルト校学生支援課学生グループ TEL：095-813-5065

②申請に関する書類を提出してください。

【提出書類】

- ・特別措置申請書

【添付書類（例）】

- ・新型コロナウイルス感染症に罹患またはその疑いがあることが明記されている医師の診断書（濃厚接触者を除く）。提出期限に間に合わない場合は、必ず事前に相談すること。
- ・保健所長が発行した健康診断勧告書の写し（濃厚接触者のみ） 等

※「特別措置申請書」の様式は大学ホームページに掲載します。

(<https://sun.ac.jp/examination/department/admissions/>)

【提出期限】

令和4年11月28日（月） 17：00 必着

※特別措置申請書の提出方法については学生支援課からお知らせします。

1 1. 入試情報の開示

(1) 個人成績の開示

令和5年度特別選抜（帰国子女・社会人）入学試験受験者の個人成績を開示します。
申請期間、申請方法等の詳細は、今後大学ホームページに掲載します。

- 開示内容 （ア）本学選抜試験の得点、総得点及び順位
（イ）調査書（「指導上の参考となる諸事項」及び「備考」欄を除く）
※追試験を受験した場合は、個人成績の開示はできません。

(2) 合格者の成績

令和5年度特別選抜入学試験合格者の総得点の最高点、最低点、平均点を令和5年5月頃から開示します。ただし、合格者が10名未満の学科・入試区分については開示しません。

(3) 過去の入試状況

本学HP（入試情報／学部入試／過去の入試情報／入試状況）に掲載しています。

1 2. 評価・合否判定基準

(1) 評価基準

【帰国子女特別選抜】

学部	学 科	科目等	評 価 基 準
経営	経 営 国 際 経 営	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面 接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
地域創造	公 共 政 策 実 践 経 済	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面 接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
国際社会	国 際 社 会	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面 接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
情報システム	情報システム 情報セキュリティ	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面 接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。

学部	学 科	科目等	評 価 基 準
看護栄養	看護	小論文	日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
	栄養健康	小論文	課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、日本の高等学校の教育課程で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。

【社会人特別選抜】

学部	学 科	科目等	評 価 基 準
経営	経営 国際経営	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
地域創造	公共政策 実践経済	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
国際社会	国際社会	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
情報システム	情報システム 情報セキュリティ	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
看護栄養	看護	小論文	高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。
	栄養健康	小論文	課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価する。
		面接	志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。

(2) 合否判定基準

【帰国子女特別選抜・社会人特別選抜 共通】※選抜区分毎に判定します。

学部	学 科	合 否 判 定 基 準
経営	経 営 国 際 経 営	①小論文と面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
地域創造	公 共 政 策 実 践 経 済	①小論文と面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
国際社会	国 際 社 会	①小論文と面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
情報システム	情報システム 情報セキュリティ	①小論文と面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
看護栄養	看 護	①小論文と面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位とする。
	栄 養 健 康	①小論文と面接の総得点で順位を決め、合否を決定する。 ②同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。

13. 個人情報の利用

(1) 出願書類により取得された個人情報は、入学者選抜業務のために利用します。

また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は、学籍登録業務のために利用します。

(2) 出願書類により取得された高等学校等の成績及び入学試験の成績は、授業料等減免業務、奨学生への推薦業務、教務関係業務及び教育改善・学生支援のために利用することがあります。

(3) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用します。